

松戸保健所感染症情報



2017年4月

(2017年4月12日配信)

◆国内で麻疹の報告がなされています 麻疹に注意しましょう◆

【発生状況】千葉県では、2017年13週に届出はありませんでした(2017年4月5日現在)。2017年1~13週の累計は0例のままです。全国では、2017年12週に5例の届出がありました(2017年3月29日現在)。近隣都県からは東京都3例の届出がありました。2017年1~12週の累計は65例となっています。最近、海外渡航者が帰国し、国内の公共交通機関を利用後、麻疹を発症する例が数例発生しており、日常生活でいつ患者と接触するかわからない状況です。

【症状】麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われていました。死亡する割合も1,000人に1人と言われています。その他の合併症として10万人に1人程度麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

【感染経路】麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

【予防方法】麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。予防接種が最も有効な予防法といえます。また、麻疹の患者さんに接触した場合、72時間以内に麻疹ワクチンの接種をすることも効果的であると考えられています。接触後5、6日以内であれば、γ-グロブリンの注射で発症を抑えることができる可能性があります。安易にとれる方法ではありません。詳しくは、かかりつけの医師とご相談ください。また、定期接種の対象者だけでなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻疹の罹患歴や予防接種歴が明らかでない場合は予防接種を検討してください。施設では、MRの接種率を把握しておきましょう。

<麻疹> http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kekaku-kansenshou21/index.html (厚生労働省ホームページ)
 * 英語版ができました * <Measles> : http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles_eng/index.html

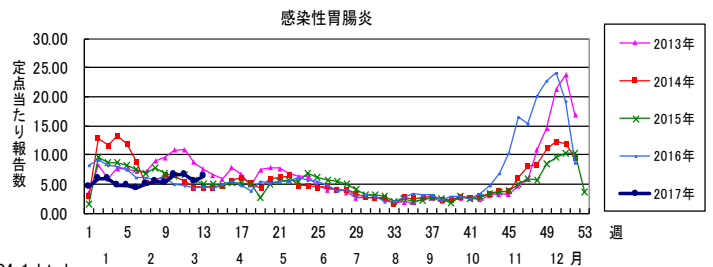
引き続き感染性胃腸炎に要注意！～施設のマニュアルの整備と日ごろからの対処訓練を～

【発生状況】2017年13週の県全体の定点当たり報告数は、12週の5.34から増加し6.26となっています。保健所別では、船橋市(9.82)、海匝(9.50)、柏市(8.78)の順で多い状況です。松戸は(6.75)と千葉県全体より報告がやや多い状況で、前回報告よりも増加しています。

【感染経路】病原体が、手指や食品等を介して経口感染します。ノロウイルスは乾燥すると、空気中に舞い上がり、感染することもあります。

【症状】吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、軽度な発熱等です。乳幼児や高齢者は重症化することがあり注意が必要です。

【予防方法】食事の前、トイレ使用後、下痢や嘔吐等の患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後は、必ず液体石鹸と流水による手洗いを徹底しましょう。吐物や便は乾燥しないうちに床等に残らないよう速やかに次亜塩素酸ナトリウムで消毒し、処理後はウイルスが屋外に出て行くよう空気の流れに注意しながら十分に喚気を行うことが重要です。高齢者施設・保育施設・障害者福祉施設・学校等においては、感染症が持ち込まれないよう対策を図り、利用者や職員の健康観察を行い、発症者の早期発見に努めてください。また、感染症対策マニュアルを確認し、オムツ交換や嘔吐時の対応について、職員全員に周知し対応できるよう備えてください。



<感染性胃腸炎 (ノロウイルス)> <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>
 <感染性胃腸炎 (ロタウイルス)> <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/Rotavirus/index.html>

ゴールデンウィークの海外旅行では感染症にご注意を！

海外には食べ物や水を介した感染症や、動物や蚊・ダニなどが媒介する感染症など、日本では発生していない感染症が流行していることもあり、注意が必要です。渡航先で感染症にかからないようにするには、感染症の正しい知識と適切な予防方法を身につけることが重要です。海外渡航する前に、これまで受けた予防接種について確認し、MR等予防接種が受けられる感染症についてはワクチン接種しましょう。また、地域によっては、蚊に刺されたりダニに咬まれないように長袖・長ズボンを着用する、生水・氷・カットフルーツは避ける等、適切な感染症予防を心がけてください。また空港や港に設置されている検疫所では健康相談も行っています。渡航中、帰国後に体調に不安がある場合、または動物に咬まれたり、蚊にさされたなど健康上心配なことがあれば、検疫官までご相談ください。

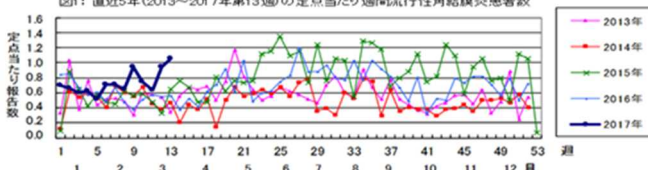
<ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について> http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html
 <検疫所 WEB サイト：海外で健康に過ごすために> <http://www.forth.go.jp/>



千葉県感染症情報：流行性角結膜炎

流行性角結膜炎はアデノウイルスによる疾患で一般に「はやり目」と呼ばれている感染症です。8~14日の潜伏期間を経て急に発症し、結膜の充血、眼瞼の浮腫や流涙、時に耳の前のリンパ節の腫脹を伴います。感染はウイルスにより汚染されたティッシュペーパー、ハンカチ、タオル、洗面器等に触れる等して生じます。感染予防の基本は接触感染予防の徹底であり、患者やその周辺の方はタオル等目に接触する物は個人用としてください。

図1：直近5年(2013~2017年第13週)の定点当たり週間流行性角結膜炎患者数



<国立感染症研究所 流行性角結膜炎とは>
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/528-ekc.html>

感染症発生状況(3月分)・・・管内医療機関 発生届全数

2類感染症 結核7件 **3類感染症** なし **4類感染症** レジオネラ症1件
5類感染症 アメーバ赤痢2件、後天性免疫不全症候群1件
 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件、梅毒1件

乳児ボツリヌス症～1歳未満の子にはちみつを与えないで～

都内において、はちみつ摂取が原因と推定される乳児ボツリヌス症による死亡事例がありました。乳児ボツリヌス症は1歳未満の乳児に特有の疾病で、経口的に摂取されたボツリヌス菌の芽胞が腸管内で発芽・増殖し、その際に産生される毒素により発症します。乳児ボツリヌス症の予防のため、1歳未満の乳児に、はちみつを与えるのは避けてください。

<厚生労働省 ハチみつを与えるのは1歳を過ぎてから>
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161461.html>
 <ボツリヌス菌について>
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/micro/boturuinu.html>
 <乳児ボツリヌス症について>
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/rensai/guide26.html>

松戸保健所管内の結核新規登録者数(3月分)

	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核感染症
	喀痰塗抹陽性	菌陰性-その他		
松戸市	1	3	0	6
流山市	3	1	0	2
我孫子市	0	0	0	0
計	4	4	0	8

松戸保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 終息基準値
 マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみを集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

